

袖ヶ浦市下水道事業の業務状況

(令和3年度下半期)

10月1日から3月31日まで

都市建設部 下水対策課

1 事業の概況

業務の状況

公共下水道は、行政区域内人口65,415人に対して、処理区域内人口44,264人となり普及率67.7%となっています。水洗化人口は43,116人で前年末比294人増、水洗化率97.4%となっています。有収水量は2,287,009m³で前年比0.5%減（△12,565m³）、一人一日平均有収水量は291ℓで前年比1.4%減（△4ℓ）となり、水洗化人口、排水戸数とも増加しましたが、有収水量は減少しました。

農業集落排水は、行政区域内人口65,415人に対して、処理区域内人口4,187人となり普及率6.4%となっています。水洗化人口は3,322人で前年末比1人減、水洗化率79.3%となっています。有収水量は155,105m³で前年比3.7%減（△5,959m³）、一人一日平均有収水量は256ℓで前年比3.8%減（△10ℓ）となり、水洗化人口、排水戸数、有収水量において減少しています。

（公共下水道）

区 分		令和3年度下半期		令和2年度下半期		比較増減	対前年度比
1	行政区域内人口 A	65,415	人	65,075	人	340	0.5
2	処理区域内人口 B	44,264	人	44,043	人	221	0.5
3	処理区域内世帯	19,772	戸	19,481	戸	291	1.5
4	水洗化人口 C	43,116	人	42,822	人	294	0.7
5	普及率 B/A	67.7	%	67.7	%	0	—
6	水洗化率 C/B	97.4	%	97.2	%	0.2	—
7	排水戸数	19,201	戸	18,882	戸	319	1.7
8	有収水量	2,287,009	m ³	2,299,574	m ³	△ 12,565	△ 0.5
9	一日平均有収水量	12,566	m ³	12,635	m ³	△ 69	△ 0.5
10	一人一日平均有収水量	291	ℓ	295	ℓ	△ 4	△ 1.4

※1行政区域内人口～7排水戸数は3年度末数値 8有収水量～10一人一日平均有収水量は3年度下期数値

（農業集落排水）

区 分		令和3年度下半期		令和2年度下半期		比較増減	対前年度比
1	行政区域内人口 A	65,415	人	65,075	人	340	0.5
2	処理区域内人口 B	4,187	人	4,256	人	△ 69	△ 1.6
3	処理区域内世帯	1,442	戸	1,470	戸	△ 28	△ 1.9
	東部地区	497	戸	491	戸	6	1.2
	松川地区	206	戸	207	戸	△ 1	△ 0.5
	平岡地区	739	戸	740	戸	△ 1	△ 0.1
4	水洗化人口 C	3,322	人	3,323	人	△ 1	0.0
5	普及率 B/A	6.4	%	6.5	%	△ 0.1	—
6	水洗化率 C/B	79.3	%	78.1	%	1.2	—
7	排水戸数	1,172	戸	1,155	戸	17	1.5
8	有収水量	155,105	m ³	161,064	m ³	△ 5,959	△ 3.7
9	一日平均有収水量	852	m ³	885	m ³	△ 33	△ 3.7
10	一人一日平均有収水量	256	ℓ	266	ℓ	△ 10	△ 3.8

※1行政区域内人口～7排水戸数は3年度末数値 8有収水量～10一人一日平均有収水量は3年度下期数値

2 経理の状況

(1) 収益的収入及び支出

収 入

(消費税及び地方消費税込 単位：円)

款・項	予算現額 (A)	下半期執行額	年間執行額 (B)	執行率 (%) (B) / (A)
下水道事業収益	1,775,359,000	1,034,832,395	1,789,778,180	100.8
営業収益	729,309,000	380,239,100	744,038,105	102.0
営業外収益	1,046,050,000	654,593,295	1,045,740,075	100.0

支 出

(消費税及び地方消費税込 単位：円)

款・項	予算現額 (A)	下半期執行額	年間執行額 (B)	執行率 (%) (B) / (A)
下水道事業費用	1,646,125,000	1,143,699,166	1,601,979,019	97.3
営業費用	1,502,194,400	1,057,840,356	1,460,107,994	97.2
営業外費用	141,464,600	85,847,380	141,461,105	100.0
特別損失	466,000	11,430	409,920	88.0
予備費	2,000,000	0	0	0.0

※消費税及び地方消費税に不足が生じたため、予備費5,000,000円を充用した。

(2) 資本的収入及び支出

収 入

(消費税及び地方消費税込 単位：円)

款・項	予算現額 (A)	下半期執行額	年間執行額 (B)	執行率 (%) (B) / (A)
資本的収入	451,378,000	280,693,420	362,959,331	80.4
企業債	296,100,000	244,600,000	244,600,000	82.6
他会計補助金	104,424,000	31,623,000	104,424,000	100.0
国庫補助金	45,534,000	225,000	8,215,000	18.0
負担金	4,821,000	4,045,620	5,320,731	110.4
長期貸付金償還金	499,000	199,800	399,600	80.1

支 出

(消費税及び地方消費税込 単位：円)

款・項	予算現額 (A)	下半期執行額	年間執行額 (B)	執行率 (%) (B) / (A)
資本的支出	875,824,000	422,402,634	788,570,485	90.0
建設改良費	177,823,000	70,399,917	92,172,063	51.8
固定資産購入費	0	0	0	0.0
企業債償還金	696,401,000	352,002,717	696,398,422	100.0
長期貸付金	1,600,000	0	0	0.0

資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額425,611,154円は、当年度分地方消費税資本的収支調整額900,619円、過年度損益勘定留保資金6,431,955円、当年度損益勘定留保資金299,442,693円、減債積立金92,447,796円及び当年度分利益剰余金の処分額26,388,091円で補てんしました。

3 令和4年度の予算の概要

(1) 予算の概要

令和4年度の予算は、「袖ヶ浦市下水道事業経営戦略」に掲げる下水道事業運営基盤の強化に向け、事業の経営成績と財政状態の現状把握を行ったうえで、より健全な事業運営を行っていくことを目的として計上しました。

(2) 収益的収入及び支出

収 入

(消費税及び地方消費税込 単位：千円)

款・項	令和4年度当初予算額 (A)	令和3年度当初予算額 (B)	比較増減 (A)－(B)
下水道事業収益	1,759,000	1,782,000	△ 23,000
営業収益	735,225	746,169	△ 10,944
営業外収益	1,023,775	1,035,831	△ 12,056

支 出

(消費税及び地方消費税込 単位：千円)

款・項	令和4年度当初予算額 (A)	令和3年度当初予算額 (B)	比較増減 (A)－(B)
下水道事業費用	1,590,000	1,673,000	△ 83,000
営業費用	1,470,280	1,531,397	△ 61,117
営業外費用	112,470	134,353	△ 21,883
特別損失	250	250	0
予備費	7,000	7,000	0

(3) 資本的収入及び支出

収 入

(消費税及び地方消費税込 単位：千円)

款・項	令和4年度当初予算額 (A)	令和3年度当初予算額 (B)	比較増減 (A)－(B)
資本的収入	407,000	382,000	25,000
企業債	311,600	262,600	49,000
他会計補助金	16,339	99,339	△ 83,000
国庫補助金	72,269	17,553	54,716
県補助金	608	0	608
負担金	5,289	1,512	3,777
長期貸付金償還金	895	996	△ 101

支 出

(消費税及び地方消費税込 単位：千円)

款・項	令和4年度当初予算額 (A)	令和3年度当初予算額 (B)	比較増減 (A)－(B)
資本的支出	912,000	809,000	103,000
建設改良費	241,936	109,569	132,367
固定資産購入費	5,080	40	5,040
企業債償還金	663,384	697,791	△ 34,407
長期貸付金	1,600	1,600	0

資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額505,000千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額11,513千円、過年度分損益勘定留保資金6,090千円、当年度分損益勘定留保資金305,028千円、減債積立金133,546千円及び当年度利益剰余金処分額48,823千円で補てんします。

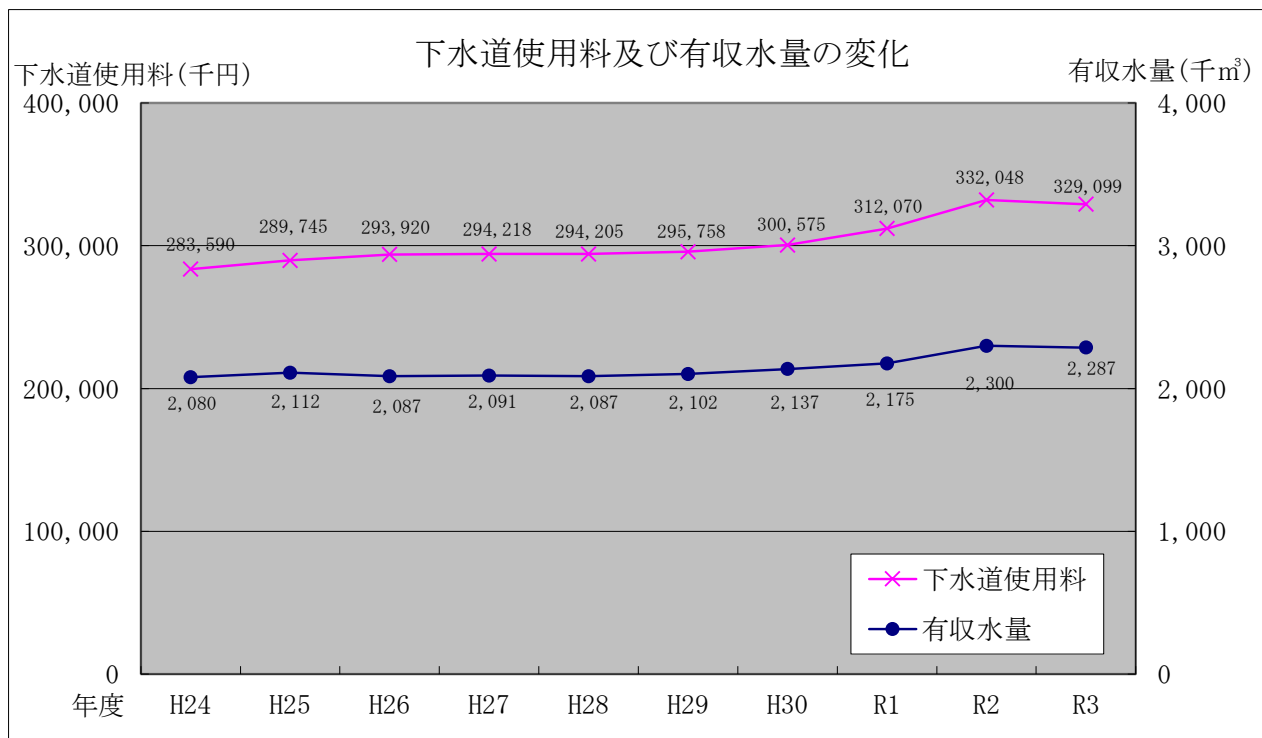
4 下水道使用料及び有収水量の推移について（下半期）

（1）公共下水道

年度	有収水量（m ³ ）	下水道使用料（円）（税込）
H24	2,079,521	283,589,783
H25	2,111,597	289,744,715
H26	2,087,044	293,919,748
H27	2,091,267	294,217,724
H28	2,087,149	294,204,753
H29	2,102,015	295,758,332
H30	2,136,608	300,574,712
R1	2,175,199	312,070,103
R2	2,299,574	332,048,267
R3	2,287,009	329,099,431

H26. 4料金改定（消費税5%⇒8%）

R1. 10料金改定（消費税8%⇒10%）



処理区域内人口及び水洗化人口ともに、令和2年度比で増加していますが、有収水量は12,565m³減少しており、それに合わせて下水道使用料も2,948,836円減少しています。

昨年度よりも新型コロナウイルス感染予防対策が緩和されたことから、在宅による使用水量が減少していますが、袖ヶ浦駅前地区の住宅の張り付きが堅調であることから、生活用水量は維持しています。一方で官公庁、事業用水量は、引き続き外出自粛やイベント中止などの影響を受けていることなどが有収水量減少の主な要因と考えられます。

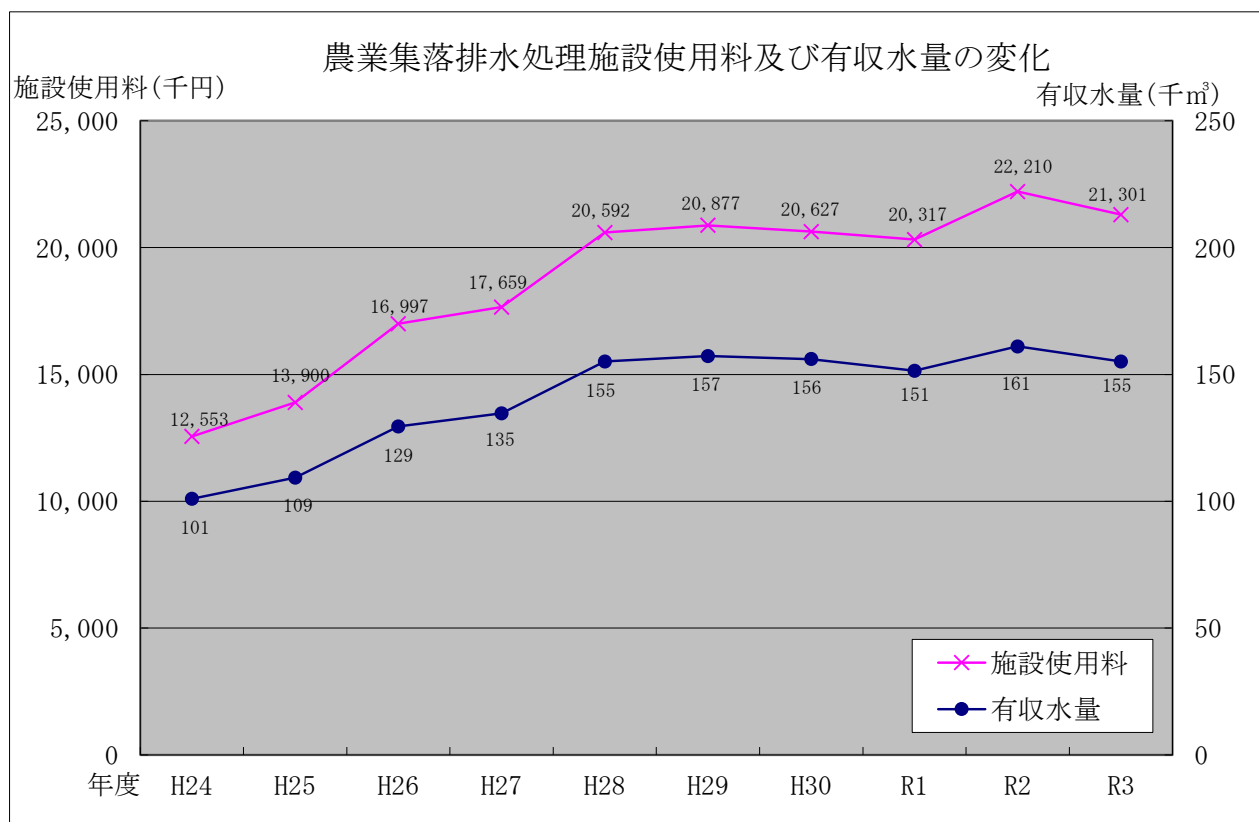
※有収水量：下水処理場で処理した全汚水量のうち、下水道使用料徴収の対象となる水量

(2) 農業集落排水

年度	有収水量 (m ³)	農業集落排水処理施設使用料 (円) (税込)
H24	100,964	12,553,458
H25	109,313	13,899,630
H26	129,484	16,997,005
H27	134,642	17,658,859
H28	155,077	20,591,865
H29	157,215	20,876,702
H30	156,052	20,627,327
R1	151,405	20,316,874
R2	161,064	22,209,675
R3	155,105	21,300,755

H26. 4料金改定 (消費税5%⇒8%)

R1. 10料金改定 (消費税8%⇒10%)



処理区域内人口及び水洗化人口ともに、令和2年度比で減少し、有収水量も5,959m³減少しました。それに伴って施設使用料も908,920円の減となっています。

昨年度よりも新型コロナウイルス感染防止対策が緩和されたことから、在宅による使用水量が減少していることが、有収水量減少の主な要因と考えられます。

5 袖ヶ浦市下水道事業経営戦略との比較

(1) 公共下水道

区分	経営戦略 (A)	3年度実績 (B)	差引 (B) - (A)
処理区域内人口 (人)	43,380	44,264	884
水洗化人口 (人)	42,190	43,116	926
有収水量 (千 m^3)	4,403	4,564	161
下水道使用料 (千円)	631,618	656,225	24,607
1日平均有収水量 (m^3)	12,064	12,504	440

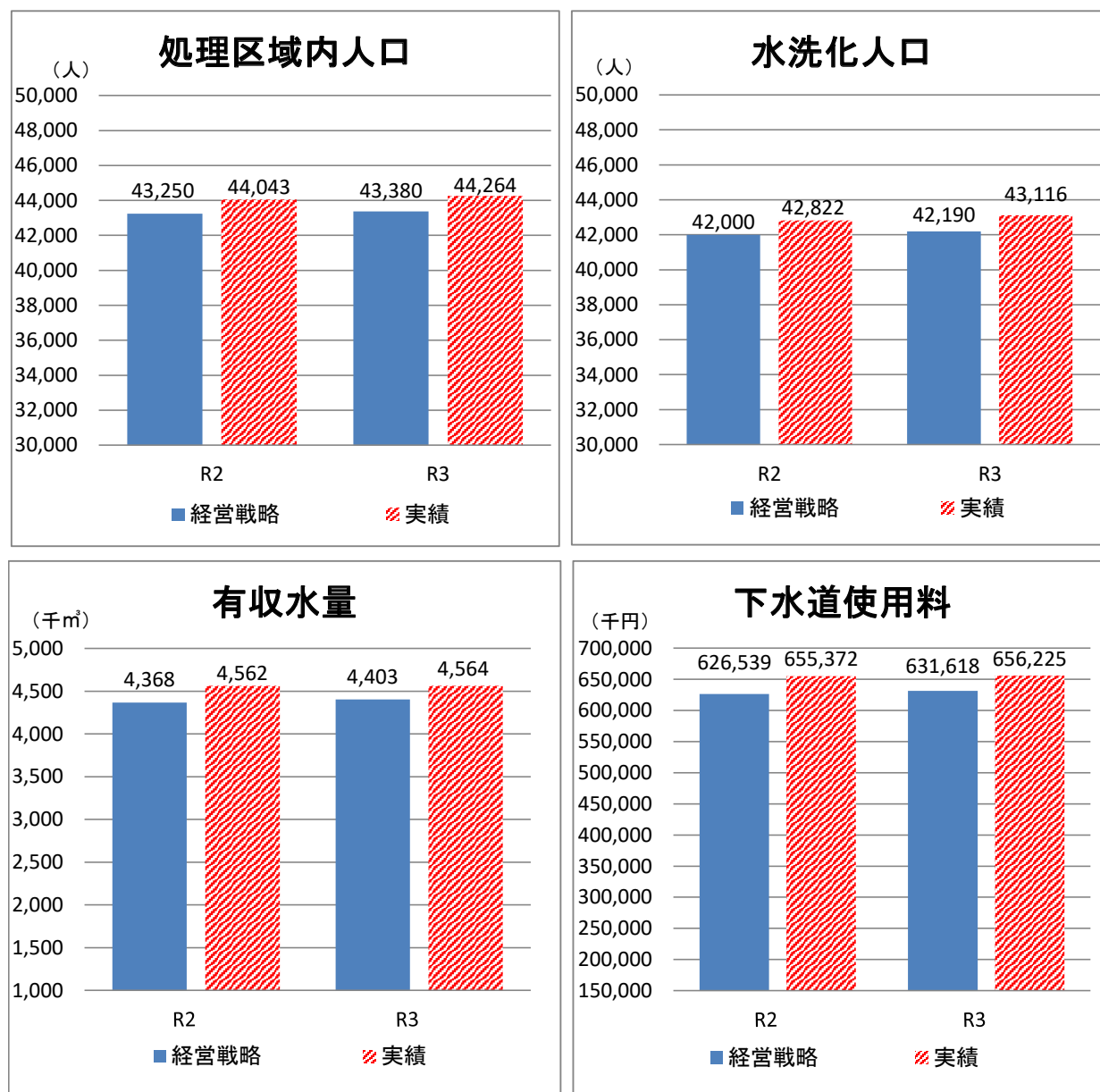
※処理区域内人口、水洗化人口は令和4年3月31日現在値

※下水道使用料は税込金額

令和2年2月に策定した袖ヶ浦市下水道事業経営戦略(計画期間：令和2年度～令和11年度)と比較した場合、処理区域内人口及び水洗化人口は計画数値を上回っています。

また、有収水量及び下水道使用料も計画数値を上回っており、人口増加に加え、上半期の新型コロナウイルス感染防止対策の影響による使用水量の増加等が要因と考えられます。

○経営戦略と実績との比較



(2) 農業集落排水

区分	経営戦略 (A)	3年度実績 (B)	差引 (B) - (A)
処理区域内人口 (人)	4,430	4,187	△ 243
水洗化人口 (人)	3,600	3,322	△ 278
有収水量 (千 m^3)	320.5	311.0	△ 9.5
農業集落排水処理施設使用料 (千円)	43,129	42,708	△ 421
1日平均有収水量 (m^3)	878	852	△ 26

※処理区域内人口、水洗化人口は令和4年3月31日現在値

※農業集落排水処理施設使用料は税込金額

令和2年2月に策定した袖ヶ浦市下水道事業経営戦略(計画期間：令和2年度～令和11年度)と比較した場合、処理区域内人口及び水洗化人口は計画数値を下回っています。

有収水量及び農業集落排水処理施設使用料も計画数値を下回っており、水洗化人口の減少が主な要因と考えられます。

○経営戦略と実績との比較

